



令和7年度 成果報告

地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業

京都発・産学公連携で推進する
観光・旅行等ホスピタリティ分野のDX学科新設事業

令和8年1月

学校法人 大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校

学校法人　大和学園
京都ホテル観光ブライダル専門学校
教務部　部長　楠井秀和

本日の報告内容

01
事業概要
背景・目的・実施体制をご説明いたします

02
実証授業の成果
5つのDX演習による教育実践の詳細報告

03
KYOKAN Heartful Wedding
理系転換×ウェディング

04
教職員DX×FDSD
教育実践力強化に向けた取り組み

05
次年度に向けて
本校の決意

taiwa vision 100

taiwa
THE ACADEMY OF HOSPITALITY

事業の背景と目的

観光業界が直面する課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光・ホスピタリティ業界は大幅な人員削減を余儀なくされ、それに伴い専門学校への入学者も大きく減少いたしました。しかしながら、旅行者数は急速に回復し、現在では深刻な人材不足が業界全体の課題となっております。

国の政策目標

経済産業省によるDX人材育成の推進、そして観光庁が掲げる2030年の目標として、訪日外国人旅行者6,000万人、旅行消費額15兆円の達成が求められています。これらの目標達成には、デジタル技術を活用できる専門人材の養成が不可欠です。

本事業の目的

「観光×DX」に関する教育課程新設

データ分析力とデジタル技術を備えた新しい観光人材を育成いたします。





実施体制

産学公連携による推進体制

教育機関

教育機関との連携により、
教育の質保証と知見共有を実現

企業・団体

ホテル・旅行・ブライダル業界の第一線企業による実践的指導

行政機関等

京都府・市、観光関連組織による助言

産学公連携DX人材検討委員会・第三者評価委員会

令和7年7月30日に開催し、事業の方向性と成果について専門的な見地からご評価いただきました。外部の視点による客観的な検証により、教育内容の質を担保しております。

事業運営委員会

毎月定例の委員会として事業の進捗管理と課題解決を迅速に実施。協力機関との緊密な連携体制を構築し、実証授業の改善を継続的に行っております。

観光DX演習による実証授業

４つの軸による実証授業による実践的教育

1

デザインツール活用

Canva演習を通じた視覚的コミュニケーション力の育成

2

SNS活用

企業アカウント分析と情報発信における戦略的思考の習得

3

VRコンテンツ活用

仮想環境による現場体験と課題発見力の向上

4

生成AI活用

ChatGPT等を用いた業務効率化と判断力育成

-

理系転換の実現

全演習を通じた論理的思考プロセスの体系的な習得

教育の特徴

単なるツール操作の習得に留まらず、**課題発見 → 仮説構築 → 検証 → 改善**という理系的思考プロセスを重視した実践的カリキュラムを展開しております。
デジタルツールは手段であり、本質は論理的な問題解決能力の育成にあります。

多角的なDX実証

デザインツール活用実証

デザインツール「Canva」を活用した実証授業では、実務家のデザイナーを講師として招へいし、基礎から応用まで段階的な演習を実施した。初回はテンプレートを活用したチラシや資料作成を通じ、デザイン経験の少ない学生でも短時間で一定水準の成果物を作成できることを体感させました。





SNS演習

企業アカウントの詳細分析とフィールドワークを実施し、実際にショート動画を制作いたしました。特に炎上事例を教材として危機管理を学ぶことで、SNSを「責任を伴う業務ツール」として認識する重要性を理解しました。情報発信には戦略性と倫理性が必要であることを体験的に習得しております。

VR演習

レストランサービス、フロント業務、コンシェルジュ対応など、様々な現場を仮想空間で体験いたしました。臨場感のある環境で業務を疑似体験することにより、現場の課題を具体的に発見し、それを言語化する力を養成しました。実習前の予習としても効果的であることが確認されております。

生成AI演習

Gemini、ChatGPT、NotebookLMを実務的に活用し、ペルソナ設定に基づく観光プラン生成を実践いたしました。AIが提示する情報の妥当性を判断し、人間の創造性と組み合わせることの重要性を学びました。AI活用の可能性と限界を理解した上での判断力育成を実現しております。

KYOKAN Heartful Wedding(1)

実証講座：実在カップルへの挙式プロデュース



プロジェクトの特徴

仮想的な課題ではなく、**実在するお客様**をお相手に、初回のヒアリングから当日の運営まで、実務に極めて近い形でプロジェクトを体験いたしました。学生たちは本物の責任と緊張感の中で、プロフェッショナルとしての意識を高めることができました。

企画設計フェーズ

カップルへの丁寧なヒアリングを重ね、お二人の想いや背景を深く理解することから始めました。
得られた情報をデジタルツールや生成AIなど活用しながらストーリーとして可視化し、
挙式全体のコンセプトを設計いたしました。

学生の学び

お客様のご要望をそのまま形にするのではなく、**情報を整理・構造化し、コンセプトとして再定義する**プロセスの重要性を実感いたしました。

多様な要望を論理的に整理し、一貫性のある物語として構築する過程は、まさに理系的な課題整理・仮説構築のプロセスそのもの。
本プロジェクトを通じて学生は顧客理解と創造的提案の両立について体感することが出来ました。





KYOKAN Heartful Wedding (2)

制作から本番まで

デザイン・動画制作

Canvaで席札、配布物、演出スライドを制作し、挙式当日の動画・演出映像を撮影・編集いたしました

SNS知見の応用

SNS演習で習得した視覚的訴求力と情報設計の知識を、ウェディングコンテンツ制作に応用しました

当日運営

上述した学生制作コンテンツを実際の挙式で使用し、進行・演出のサポートを担当いたしました



※上記はイメージです。



※上記はイメージです。

成果物が顧客体験に直結する責任

自分たちが作ったデザインや映像が、実際にお客様の大切な一日を彩る。
その責任の重さと、お客様に喜んでいただけたときの達成感は、何にも代えがたい学びとなりました。

身につけた力

- 顧客ニーズの構造化とコンセプト設計力
- デジタルツールでの制作・改善サイクル
- 本番環境での検証と振り返りの実践
- チームでのプロジェクト推進力





教職員DX　×　FDSDプログラム

1

WEBサイト作成

日時: 2025年8月27日

内容: ハンズオン形式でサイト構築から公開まで一連の流れを実習

成果: 情報共有基盤の強化、業務効率化の実現、学生への情報提供方法の多様化

2

Gemini利活用

日時: 2025年10月3日

内容: 効果的なプロンプト作成技術、授業での活用方法、安全な運用方法

成果: 校務の効率化、教材作成の支援、学生指導における新たな可能性の発見

3

STEAM教育FDSD　2026

日時: 2026年1月9日

目的: STEAM教育に基づく教育手法の転換

目指す姿: 「知識を教える側」から「学生の思考を引き出す側」への転換を実現

これらの研修を通じて、教職員のSTEAM教育やDX教育等に関する実践力を段階的に強化し、持続可能な教育体制の構築を進めております。

有識者からの評価

ポイント

- 現場課題との直結性

  観光・ホスピタリティ分野の実際の業務課題に基づいた教育設計が評価

- 実データ活用

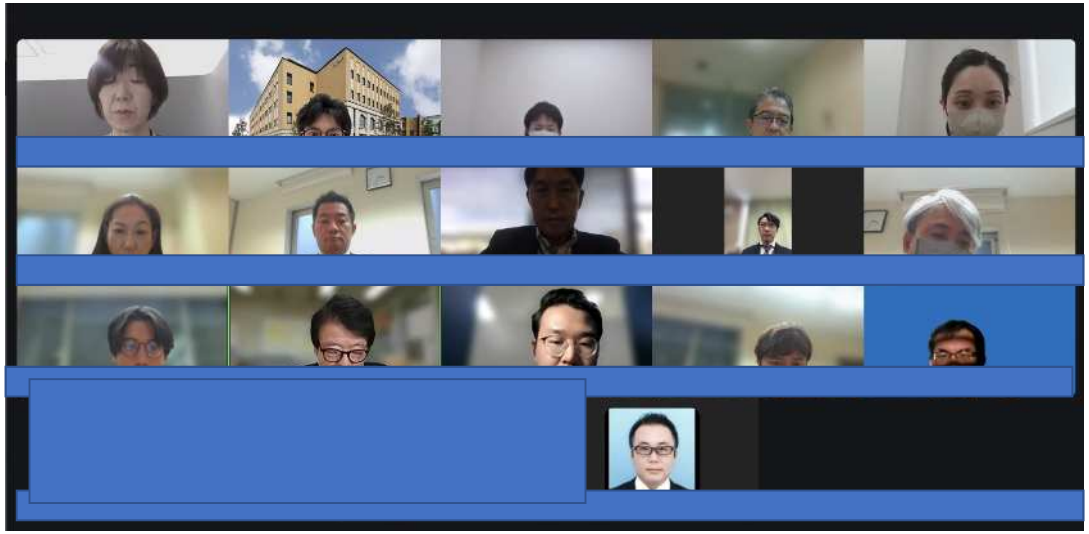
  具体的な業務シーンでの演習設計により、実践力の育成が確実に図られている点が評価。

- 学生主体のPBL

  プロジェクト型学習により、主体的な学びと問題解決能力が育成されている点が評価。

- 差別化の明確性

  大学教育との明確な差別化により、専門学校の独自性が確立されている点が評価

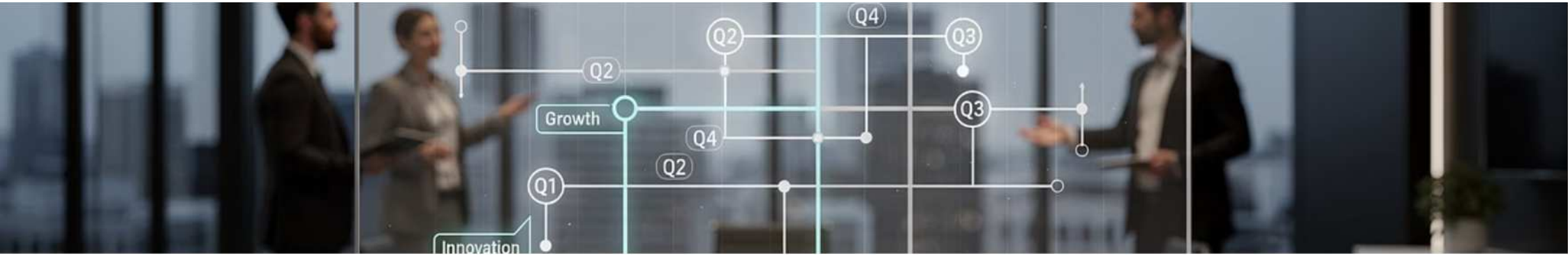


指摘事項と対応

基礎的ITリテラシーの段階的育成と、
基礎科目とDX演習の体系的接続について、
カリキュラム構成の更なる精緻化が必要であるとの
ご指摘をいただきました。
この点については、令和8年度の重点課題として取り組んでまいります。

社会的意義

DMO、観光支援組織、宿泊・旅行業者への即戦力人材の輩出により、**業界全体のDX人材不足解消**に貢献することが期待されています。



令和8年度の重点施策

第一：教育手法の内製化推進

外部講師との協働を継続しながらも、学内教員がファシリテーション・PBL運営を主導できる体制を構築いたします。STEAM研修の知見を全学的に展開し、**持続可能な教育実装**を実現してまいります。

- 教員によるCanva・AI活用授業の自律的運営
- PBL型授業の設計・運営ノウハウの蓄積
- 学内での相互研修体制の確立

第二：産学公連携の深化

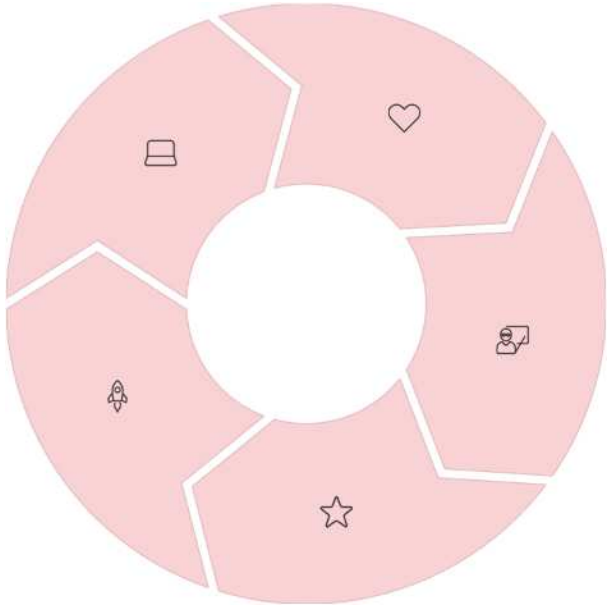
本事業での成功モデルを、観光イベント企画、地域連携事業へと拡大展開いたします。オーバーツーリズム、インバウンド対応など、**現実の課題**を題材とした実践的学習を更に充実させてまいります。

- 地域観光資源の発掘・プロモーション実習
- 持続可能な観光モデルの提案型学習
- 企業・自治体との共同プロジェクト拡大

令和7年度の成果まとめ

実証授業
観光DX分野で理系的思考プロセスを実装

次年度以降展開
教育手法内製化、産学公連携深化、
カリキュラム体系化、教職員力量強化



実践型プロジェクト
KYOKAN Heartful Weddingで
実在顧客への価値提供

教職員FDSDプログラム
生成、STEAM教育で指導力強化

外部評価
産学公連携委員会から高評価を獲得



引き続き様々な人の「和」を広げ
「ひと」づくり・「まち」づくりに
貢献します。

taiwa vision 100

（建学の精神より）
人の和の広がりを大きくし、
もって人類の福祉増進に寄与する

taiwa
THE ACADEMY OF HOSPITALITY